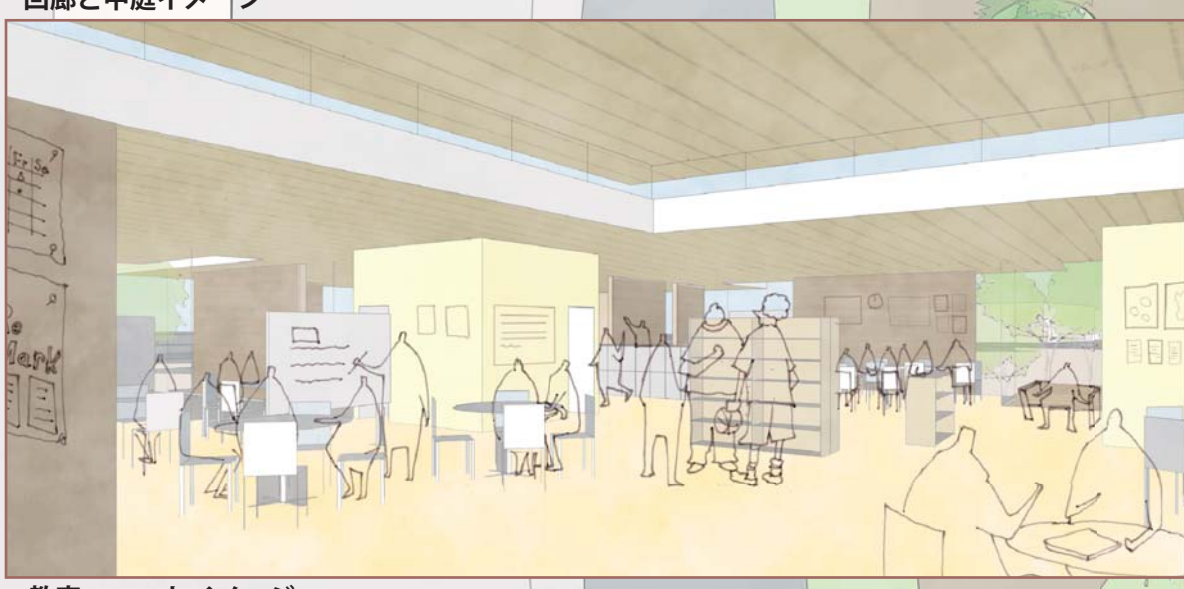


# 様々な世代や世界の背景の垣根を超えた 多様なアクティビティに満ちた場所の創造

日本を考えるには、世界を考えなければなりません。また、日本人だけで考えていても仕方ありません。世界は益々混沌としていますが、そのような状況下で「教育」が、未来に繋がると信じて。小さな街のような学校を旧ソ連と中国の国境地帯につくる、というプロジェクトに関わり続けている私たちは、そのリアリティと困難さ、一方で広島／瀬戸内海という恵まれたコンテクストと敷地の意味がよく分かります。「グローバルリーダー育成校」は、確実に成功させなければならないプロジェクトです。豊富な学校建築の経験を生かし、私たちが提案する建築がその一助となることを望みます。



## (ア) 学校づくりについて

### 1：多様性を支える「クラスター」と「コネクタ」

各機能毎のまとまりである「クラスター」とそれらを面的につなぐ「コネクタ」の考えにより、多様な人々のアクティビティに対応した様々な居場所をつくり、多様な人々の交流・協働が自然と生まれる環境をつくり出します。

- 敷地全体
- クラスター (校舎・寮)
- コネクタ (中庭・軒下)
- コネクタ (みかん広場)
- 寮 (ネパ・パッド)
- 寮ユニット (個室・水回り)
- コネクタ (リビング)
- 校舎
- 校舎コネクタ (各棟)
- 校舎コネクタ (まなびの庭)
- 校舎コネクタ (回廊)
- 校舎コネクタ (F.L.A.)
- 校舎コネクタ (教室ユニット)
- 校舎コネクタ (F.L.A.)

### 2：様々な要望を反映しやすい「クラスター」と「コネクタ」

統計を進める中で様々な条件変更が予想されるため、それらを柔軟に反映し、発展していく骨格の提案です。

- プランの柔軟さ
- 増築のしやすさ

### 3：大崎上島で学ぶ (地域との交流・環境共生エコスクール)

敷地中央に設定した地域開放ゾーンや「みかん広場」により、地域の方々との交流がしやすい計画となります。

### 4：相互に連携しやすい配置と距離感 (平面ゾーニング)

「みかん広場」に面してメディアセンター・カフェテリア等を配置。他校との様々な教育イベントを行い連携を強化。

- 寮と校舎の連携しやすい距離
- 寮とコミュニケーションセンター間の移動に配慮
- 敷地全体を見守る管理棟
- 西側のスポーツゾーンは海水浴場とも連携してイベントに開放
- アリーナ (体育館) はスポーツゾーンの近くに配置

## (イ) 配置計画について

### 1：フィールドと建築でつくる豊かな屋内外の環境

**フィールド：オーガニック (有機的)**  
柔らかな屋外空間でスペースを面的につなぎ、内外に様々な学習環境と居場所をつくり出す。自然豊かな地域の環境を生かして、自然との触れ合い、スポーツ、休息など、多様なアクティビティに満ちた屋外スペースをつくり出す。

**建築：アーティフィシャル (人工的)**  
明らかなゾーニングで機能的な計画とします。小さな建築の集合体として、周辺環境に調和した景観をつくり出す。

### 2：地域開放とセキュリティの両立

近距離利用可能なスポーツゾーンなどを地域開放ゾーンに設定し、地域全体の密な人の賑がらぎを実現します。

**0次セキュリティライン (敷地境界)**  
1次セキュリティライン (校舎・校舎コネクタ)

**2次セキュリティライン (校舎コネクタ)**  
3次セキュリティライン (教室)

### 3：気候風土を踏まえた安全性の確保 (防災計画)

**避難計画** 明後日目的に利用する動線を避難動線とする

**地震** 鉄骨のステンレス採用

**海風** 砂防対策となる植栽設計

**津波** 防風帯、フェンス、ゲートによるセキュリティ

**台風の暴風** 非剛性構造の採用

**音** メガソーラー：音調査により対策を検討

**声** コスト比較を踏まえた強固な壁面を計画

**地震** 高強度な構造計画

配置イメージ

## (ウ) 施設計画について

### 1：教育カリキュラムの空間への翻訳・国際バカロレア・ディプロマ・プログラム (IBDP) に即した学習環境

特別教室型や教科教室型、そのハイブリッド、国際バカロレア・ディプロマ・プログラムにも対応可能な空間構成とします。

**●自由度高く柔軟な空間 / 1 体系的な家具計画**  
教室ユニットは「オープン」「セミオープン」「クローズド」の3つの性格の異なるスペースでつくります。相互に干渉しない視線 / 音環境として、建築平面と可動家具の組み合わせで、自由度の高い空間をつくり出します。

**●相互に干渉しない複数の授業スペースの確保**  
特にIBDPでは授業展開数が多くなるため、相互に干渉しない授業が行える複数の授業スペースの確保が重要です。寮：校舎と近い配置として授業が無い生徒が一時、寮に戻り学習を行うことも考慮。

**●教室ユニットまわり平面イメージ**

**F. L. A. (Flexible Learning Area)**  
移動空間と一体となった学習・休息スペース。大人数な集まりの場となる。F.L.A.と連携して計画し、最大35人の授業、ホームルームにも対応可能。可動家具等で大小様々な学習スペースに変換可能。授業利用の際にCSやQSの授業の移動と干渉しない動線確保。

**SL (Student Lounge) オープン**  
最大35人の授業、ホームルームにも対応可能。可動家具等で大小様々な学習スペースに変換可能。授業利用の際にCSやQSの授業の移動と干渉しない動線確保。

**QS (Quiet Space) クロース**  
最大35人の授業 (セミオープン教室) に対応。特に音環境において使用を想定。コンパクトな授業を重視し、35人利用を想定される10-15-15とCSを5行×3列。

**CS (Class Space) セミオープン**  
最大35人に対応。SLとゆるやかに分断され、同時に授業を行っても干渉しない空間。

**IC (Innovative Classroom) 大人数で授業**  
大人数で授業を行うための最大25人のスペース。特に音環境において使用を想定。コンパクトな授業を重視し、35人利用を想定される10-15-15とCSを5行×3列。

**TR (Teacher's Room) 先生**  
専任で仕切られた少人数で学習・休憩することができるスペース。

**AL (Aller-Corridor) 少人数で授業**  
少人数で授業を行うための最大25人のスペース。特に音環境において使用を想定。コンパクトな授業を重視し、35人利用を想定される10-15-15とCSを5行×3列。

**PC (Teacher's Space) T.C (Teacher's Space)**  
専任で仕切られた少人数で学習・休憩することができるスペース。

**CS (Class Space) セミオープン**  
最大35人に対応。SLとゆるやかに分断され、同時に授業を行っても干渉しない空間。

### 2：多様な活動を支える計画のポイント

**●内外の連続性が高い新自然的な活動領域**  
テラスや緑地、散策路など、屋外 / 半屋外空間を充実させ、新自然的な環境をつくり出す。建物まわりで設けた内外の連続性が高い空間としながらコンパクトな整理範囲とします。

**●オープンな空間で相互干渉を許さない音環境計画の徹底**  
●ユニバーサルデザインの徹底

**●フレキシブルで機能的なオフィス環境**  
●コピキタなICT環境の充実

平面イメージ

## (エ) 施設整備方針について

### 1：コスト管理の徹底 / 室の重ね合わせ精査による建築コンパクト化検討

●コンパクトな建築として整理範囲を抑えます。  
●廊下型ではなく、スペース連結型とすることで共用面積を縮小し、コスト削減を図ります。  
●同じシステムによる計画でスケールメリットを生かした計画とします。  
●必要諸室を精査し室の重ね合わせを行い、建築コンパクト化します。

**2：工期短縮計画 / 平成31年4月開校を必ず実現する工事情画**

「クラスター」と「コネクタ」の考え方は、短い設計期間の中で後戻りも様々な要望を反映できる骨格です。工事においても、分断発注も視野に入れ、ある程度工事区分を分割し同時並行で工事を行える計画として工期短縮を図ります。

### 2：自然エネルギーを最大限利用する瀬戸内の気候に合った環境建築

庇や緑地など日本建築の自然への構えをふまえて、温暖少雨な瀬戸内の気候に合った自然採光・通風を生かした、自然エネルギーを最大限活用する環境建築をつくり出します。様々な環境配慮計画がその最大活用となる「見える化」を図ります。

**●自然採光・通風** 上部高窓・建物太陽熱集熱に太陽発電による空調間・中央部に採光・よる空調外気による熱エネルギー削減  
**●自然エネルギー** 太陽光発電・蓄電池による再生エネルギー  
**●自然エネルギー** 地中熱 / 太陽熱の空調利用  
**●自然エネルギー** 雨水利用・雨水利用  
**●自然エネルギー** 自然採光による照明エネルギー削減  
**●自然エネルギー** 自然採光・自然採光による空調間の短縮  
**●自然エネルギー** 太陽光発電・蓄電池による再生エネルギー  
**●自然エネルギー** 地中熱 / 太陽熱の空調利用  
**●自然エネルギー** 雨水利用・雨水利用  
**●自然エネルギー** 自然採光による照明エネルギー削減  
**●自然エネルギー** 自然採光・自然採光による空調間の短縮

### 3：教育の場となる木の温もりのある「みんなの家」

様々な生活単位に適した領域を段階的に設けて、集団生活の楽しさと、プライバシーの確保を両立できる生活環境をつくり出します。機能的で木の温もりのある落ち着いた「みんなの家」をつくり出します。

**●大崎上島の風景を楽しむ2・4人部屋**  
●男女区別の明確化  
●共有室  
●吹抜  
●吹抜  
●吹抜

**●大崎上島の風景を楽しむ2・4人部屋**  
●男女区別の明確化  
●共有室  
●吹抜  
●吹抜  
●吹抜

断面イメージ